



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4
 TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

校内研修支援のひろば「教師と生徒の関係づくり」・・・1
 学力を高める授業のポイント⑫（家庭）・・・2
 研修講座の様子・・・3
 センター研究発表会（2月16日）のお知らせ・・・4

校内研修支援のひろば



高校での「教師と生徒の関係づくり」についての校内研修支援の様子をお伝えします。

＜今回の研修の流れ＞

- 不登校について理解する
 心の支援課作成の「**不登校への支援について考える**」をご紹介します、チェックシートで**現状を把握**しました。
- 受容的で共感的な理解とは
 演習で「**受容**」「**繰り返し**」「**明確化**」という**共感的応答**の面接法を学び合いました。
- 心理的事実に寄り添う
 トラブル事例を検証する演習を通して、**情報を「心理的事実」と「客観的事実」に整理**することの大切さを学び合いました。
- 生徒との関係づくりの振り返り
 センターで作成した「**関係づくり振り返りシート**」を使って生徒との関係を振り返っていただきました。

1 不登校について考える

不登校という状態の継続で

十分な支援をしないと・・・

- 人間関係
- 学業
- 自己有用感
- 進路（社会的な自立）

子どもの不利益につながってしまう

2 受容的で共感的な理解とは

共感的理解とは

児童生徒の立場に立って、
 悩みや苦しみなどの心情、
 発する言葉の意味を**理解しよう**と努めること。

2 受容的で共感的な理解とは

カウンセリング・マインド

傾聴
 相手の語るところを**じっくりときく**態度

共感
 相手が感じているように**共に感じる**態度

受容
 これまでの頑張り**を肯定的に認める**態度

「関係づくり」振り返りシート（抜粋）

～「関係づくり」に役立つ・役立つ視点を広げる～

①の欄は・・・「関係づくり」の振り返りシートに記入してください。
 ②の欄は・・・「関係づくり」の振り返りシートに記入してください。
 ③の欄は・・・「関係づくり」の振り返りシートに記入してください。

| ① | ② | ③ | 振り返りの具体例 |
|----|---|---|-------------------------------------|
| 1 | | | 目標から話し合い、関係づくり、実現できている |
| 2 | | | 親と子の関係、この子にもっと多くに関心を持っている |
| 3 | | | 「関係づくり」の振り返りシートに記入している |
| 4 | | | 一人ひとりの個性や、個性の小さな違い、成長を促している |
| 5 | | | 子どもの成長、進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 6 | | | 子どもの成長、進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 7 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 8 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 9 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 10 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 11 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 12 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 13 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 14 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 15 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 16 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 17 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 18 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 19 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 20 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 21 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 22 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 23 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 24 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 25 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 26 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 27 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 28 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 29 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 30 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 31 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 32 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 33 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 34 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 35 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 36 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 37 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 38 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 39 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |
| 40 | | | 進歩を促している、子どもの成長によって関係が深まっている |

「生徒への接し方について改めて考えさせられました。」
 「受容的で共感的な聞き方が勉強になった」
 「早速、実践していきたい」などの感想をいただきました。

学力を高める授業のポイント⑫

家庭科
技術・家庭科 家庭分野 編



トモニ先生

今日の家庭科では、野菜炒めの調理実習をしたんですね。子どもたちが「野菜の切り方がうまくできた」「めあての野菜炒めができてよかった」と、教えてくれましたよ。



ミガコ先生

子どもの自信につながるように実習や製作を多く取り入れています。たしかに技能の習得につながっているように思います。でも、子どもが自分で考えたり、工夫したりする力が高まっているか不安です。



つなぐ先生

家庭科では、実践的・体験的な活動を通して、**知識や技能を身に付けながら、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てていくことが大事**です。では、どうしたらよいか野菜炒めの題材で考えてみましょう。

まずは、子どもがどんな野菜炒めにしたいのかという「ねがい」をもったり、これでいいのか「問い」をもったりできるように、**〇〇を見つめて課題を発見できる場**を大事にしたいです。



火加減を調節したり、炒める順番を変えたりして課題を追究できるように、**見守ってくれる人がいる中での一人調理**を位置付けたいでしょう。そして、対話的に振り返ることができるように、ペアで見合ったり、ICT機器で撮影したりすることも考えられますね。

実習のまとめでは、ペアで見合った調理の様子や、ICT機器による撮影の記録、一人調理で取り組んだ出来事（こうしたら→こうなった）の記述などから、**おいしくできた根拠やうまくいかなかった原因**とともに追究過程を振り返ることができるようにしたいです。そして、これをもとに実習前に作成した計画表と**違いを比較して考察する活動**を位置付けることも考えられると思います。



そうですね。子どもが身近な生活の課題を見つけ、その解決を目指して生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりすることが、**生活を工夫創造する能力**につながっていくのです。そのためには、土台となる基礎的・基本的な知識や技能の習得も大事です。それらを活用し、自分の考えを働かせて工夫する能力を育む授業を充実させ、**生活をよりよくしようとする能力と態度**を育てていきたいですね。

研修講座の様子

信州大学連携講座 授業力向上のためのカリキュラム・マネジメント A,B,C

これらの講座は、信州大学教職支援センターと長野県総合教育センターの連携協定に基づいて実施された講座です。Aは信州大学伊那キャンパスで10月2日に、Bは同上田キャンパスで10月5日に、Cは同松本キャンパスで10月6日に実施しました。

＜講座のねらい＞

- ・授業力向上を目指し、新学習指導要領が目指す方向を理解する。
- ・児童・生徒が能動的に学ぶ姿を醸成するための授業改善のあり方を学ぶ。

＜講座の主な内容＞

（講義）「教師に求められるカリキュラム・マネジメント」
（講義・演習）「教職実践演習」

信州大学学術研究院
総合人間科学系 小山 茂喜 教授

◆◆◆感想の抜粋◆◆◆

- ・歴史的な経緯も含めて、カリキュラム・マネジメントについて理解することができた
- ・地域とのかかわりもカリキュラム・マネジメントを考えるうえで大切
- ・チーム学校とは何か、その意図を知ることができた
- ・カリキュラムの再編は難しいが、他教科の先生と連携した授業を作りたい
- ・小学校では全教科の目的を見据えてマネジメントをしていかなければならないと分かった
- ・学生の熱意に感化されて、自分も頑張らないといけないなと思いました。

講義では「カリキュラム・マネジメント」「主体的・対話的で深い学び」「チーム学校」「パフォーマンス評価」など新しい用語や概念の示すところや相互関係を、背景も含め分かりやすくご説明をいただきました。

授業分析の演習では、視点を変えて授業を見てみるという内容はもちろん、大学生の発する「コメントへの驚き」「新鮮さ」「熱意」などから、自らを振り返る機会になりました。



授業に取り入れるワールドミュージック ～楽しく歌おうゴスペル・R&B～（11月2日）

この講座は、以下の講座のねらいによって開講し、54名の方が受講しました。

＜講座のねらい（要約）＞

- ・ゴスペルやR&Bの歌唱法や指導法、音楽文化について学び、授業に活かす
- ・楽曲のもつ自由さや楽しさを体感し、その要素を授業や全校音楽に取り入れる方法を考える
- ・プロシンガーから見た音楽教育について知り、自分たちの実践している音楽教育を考える

＜講座の主な内容＞

講師のお話＆歌 アーティストの立場から考える音楽教育

演習 「学校で歌おう！！ゴスペル・R&B」

ゴスペル・R&B等ワールドミュージックの魅力，自身の音楽活動について

「ゴスペル，R&Bを歌おう」講師オリジナル曲ほか

「オリジナルゴスペルをつくろう」

研修成果の発表 各グループの発表

＜講師＞

オーガニックソウルシンガー
湯澤かよこ さん

◆◆◆感想の抜粋◆◆◆

- ・ハーモニーを重ねる「楽しさ」「面白さ」「そんなに難しいことはないんだよ」という事を子ども達に伝えられそうな気がしました。
- ・若い頃、クラシックばかりやってきてある意味狭い音楽の世界にいる自分でしたが、今日はゴスペルの世界に少しですが触れて、その楽しさを知った。
- ・今日のような自己表現が学校に戻って学校の生徒で出来たらどんなに楽しいだろう、全校音楽でも取り入れたいと思った。



音楽教育の新たな可能性を感じていただけた講座となりました。





平成 29 年度 長野県総合教育センター

研究発表会

～多様化する教育現場の課題解決に取り組む教職員を支援する調査研究～

総合教育センターが取り組む学校教育に関する研究成果の発表により、県内の各学校・教育関係機関等における研究活動の充実、教員の指導力の向上に資することを目的として開催します。

教育をタイムリーにチェンジする

本年度、長野県総合教育センター研究発表会では、参加者の皆さんと、

- 各テーマに関する研究の成果と、それを踏まえたワークショップを通し、
様々な校種の教員同士が語り合う事で**研究の成果を日々の実践へとつなげていくこと**
- 「教える」という事について、哲学者、脳科学者それぞれの視点から光を当て、
「教える」という事の意味、日々の実践を問い続けること
を目指しています。

- 会場 長野県総合教育センター 〒399-0711 長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
- 日時 平成 30 年 2 月 16 日 (金) 9:30～16:30

| 時間 | 内容 | | |
|-------------|--|---------------------------------|----------------------------|
| 9:30～9:40 | 開会行事 | | |
| 9:40～10:10 | ○オープニング対談 「主体的・対話的で深い学びにつなぐ」  塩谷 賢氏 (哲学者) 茂木 健一郎氏 (脳科学者) コーディネーター 酒井 賢一 (長野県総合教育センター) | | |
| 10:30～12:00 | 分科会 1 | | |
| | A 「グローバル時代に求められる力」をつけるには | B 子ども自ら課題を発見し、探究的に学んでいく学習に関する研究 | C 小学校段階におけるプログラミング教育 |
| 12:00～13:00 | 昼食 | | |
| 13:00～14:30 | 分科会 2 | | |
| | D 職場のパートナーシップにつながる校内研修の充実に向けて | E 困難さのある児童生徒を支える学校体制づくり | F 「主体的・対話的な学び」につなげる ICT 活用 |
| 14:50～16:20 | ○クロストーク 「教えの深淵」 塩谷 賢氏 (哲学者) 茂木 健一郎氏 (脳科学者) コーディネーター 酒井 賢一 (長野県総合教育センター) | | |
| 16:20～16:30 | 閉会行事 アンケート記入 | | |

- 参加費 無料
- 参加申込み <締切日 平成 30 年 1 月 31 日(水)>
・長野県総合教育センターのホームページから申込書をダウンロードし、郵送または FAX でお申込みください。
- 定員 300 名程度

長野県総合教育センター 企画調査部
 (部長) 酒井 賢一 (担当) 菅原 崇
 TEL 0263-53-8802 FAX 0263-51-1290
 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp